

令和3年度進行管理・評価シート
大津市歴史的風致維持向上計画（令和3年3月23日認定）

口進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)	
1 大津市歴史的風致維持向上協議会の開催	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)	
1 大津市景観計画との連携	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)	
1 歴史的建造物の資料館などとしての活用	3
2 歴史的風致形成建造物への指定 と保存のための整備	4
3 町家の利活用の支援	5
4 未指定文化財の調査	6
5 文化財保存修理などへの補助	7
6 大津市伝統的建造物群保存地区 での修理修景への補助	8
7 大津市景観計画の改定	9
8 景観保全型広告整備地区の新規設定	10
9 まちなみ修景整備への補助	11
10 道路の美装化	12
11 文化観光振興などへの助成	13
12 祭行事の開催費用の補助	14
13 歴史的観光資源を活用した事業への補助	15
14 地域の歴史資料館の運営の補助	16
15 副読本、文化遺産マップなどの作成	17
16 東海道統一案内看板の普及啓発	18
17 地域の人材活躍の支援	19
18 大津まちなか大学の開催	20
19 大津人実践講座の開催	21
20 埋蔵文化財調査成果の展示会などの開催	22
21 歴史博物館での常設展示及び企画展示の実施	23
22 歴史博物館での資料の調査や収集	24
23 れきはく講座などの開催	25
24 観光施設の維持管理	26
25 公共空間の活用	27
26 道路の拡幅整備(都市計画道路比叡辻日吉線)	28
27 道路の拡幅整備(都市計画道路本堅田衣川線)	29
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)	
1 文化財調査、指定、保存管理(活用)計画 の策定など	30
2 文化財の修理事業、文化財の周辺環境の 整備事業、防災防犯に関する事業など	31
3 文化財に関する普及・啓発の取組、 防災訓練の取組みなど	32
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	
1 天台真盛宗の至宝の一堂	33
2 脇侍の仏像 奇跡の再会	34
3 公人屋敷 大津市が初指定 / 旧岡本家住宅を指定	35

口法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	36
-------------------------	----

評価軸①-1
組織体制

項目		評価対象年度	令和3年度 現在の状況
大津市歴史的風致維持向上協議会の開催			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	大津市歴史的風致維持向上協議会は、大津市歴史的風致維持向上計画の作成及び変更に関する協議並びに実施に係る連絡調整を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
歴史的風致維持向上計画を所管する部署を都市計画課から都市魅力づくり推進課に移管し、本市の歴史・文化に関する知識、知見の豊富な専門員を雇用した。歴史的風致維持向上計画についての連携や事業推進を図るために、教育委員会文化財保護課と歴史博物館の職員を各1名兼務職員とした。また、事業の進捗状況等について、法定協議会である大津市歴史的風致維持向上協議会を開催し、協議を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		次年度以降も継続して協議を進め、大津市歴史的風致維持向上計画の実現に努める。	

状況を示す写真や資料等

【大津市歴史的風致維持向上協議会】

1 開催日 令和3年10月21日

2 議題 (1)令和3年度大津市歴史的風致維持向上計画に基づく事業について

- ①歴史的風致形成建造物指定について
- ②地域固有の歴史・生活文化発信事業
- ③周遊促進事業
- ④地域人材活躍支援事業
- ⑤歴史まちづくりPR事業

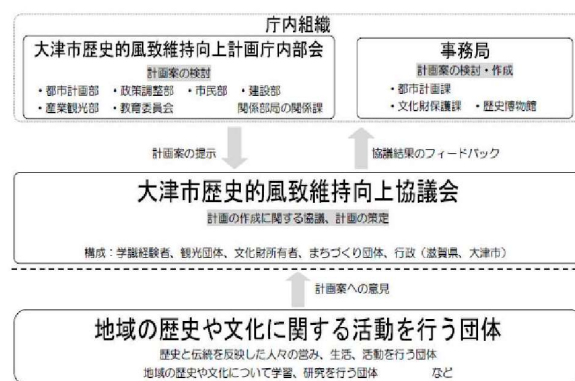
(2)令和4年度大津市歴史的風致維持向上計画に基づく事業予定について

- ①歴史的風致維持向上計画推進体制について
- ②各重点区域における事業予定について
- ③市域全域における事業予定について

・令和3年6月30日開催の大津市文化財専門委員会で、「大津市歴史的風致維持向上計画」について、報告した。



大津市歴史的風致維持向上協議会の様子



庁内外組織体制図

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

評価対象年度		令和3年度
項目		現在の状況
大津市景観計画との連携		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

計画に記載している内容

大津市景観計画により、市全域を景観計画区域に指定しており、この区域内において一定規模以上の建築物の建築や土地の形質の変更など景観の保全及び形成に大きな影響を及ぼす影響のある行為に対して、地域の景観に調和することを趣旨とし、届出・勧告による規制誘導を行うことで、市域全体の景観形成に取り組んでいる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

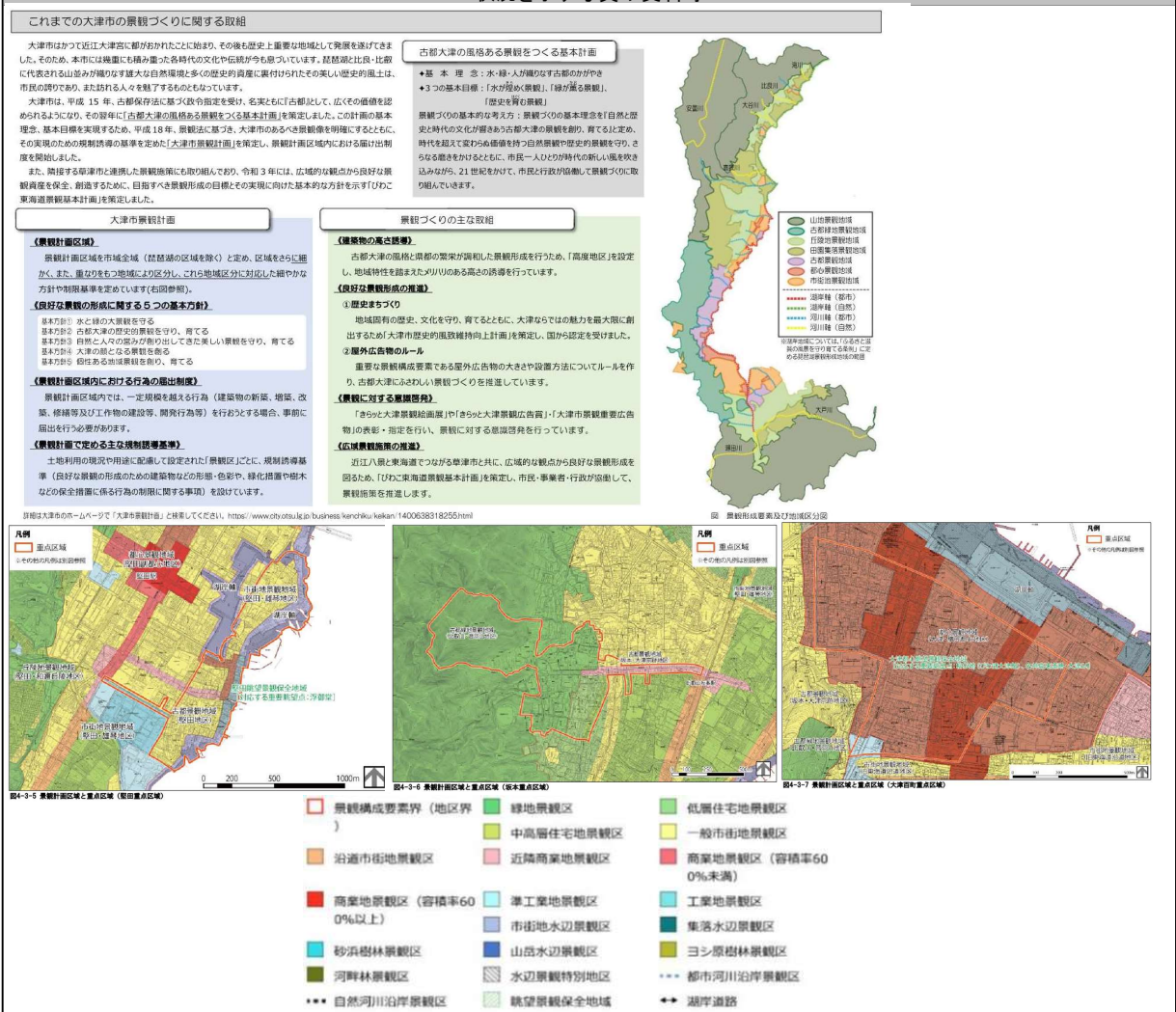
・大津市景観計画の改定・・・重点区域においては、特に歴史的なまちなみ景観の保全・形成を目指し、建築物などへの新築・増築などの行為に対する新たな規制誘導基準を設定する。

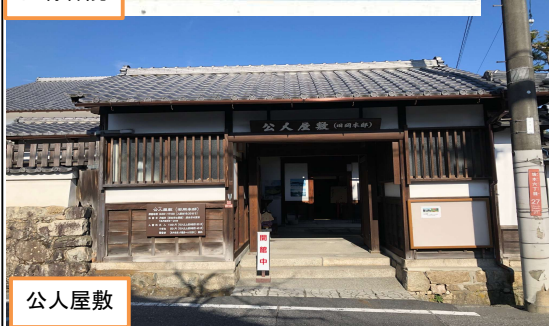
・景観保全型広告整備地区の新規設定・・・坂本地区に景観保全型広告整備地区を設定すべく、坂本学区まちづくり協議会地域整備部会と協議を重ねている。

・まちなみ修景整備への補助・・・堅田重点区域において、建造物の外観の修景整備について1件協議を進めている。修景整備は令和4年度実施予定。

進捗状況 ※計画年度との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	・大津市景観計画の改定に向けて、社会情勢の変化や時代ニーズに対応した適切な見直しを行うために、地域住民や専門家などと協議を進めていく。 ・まちなみ修景整備の補助金の活用に向けた周知不足。歴まち講座などを通じて広報に努める。

状況を示す写真や資料等

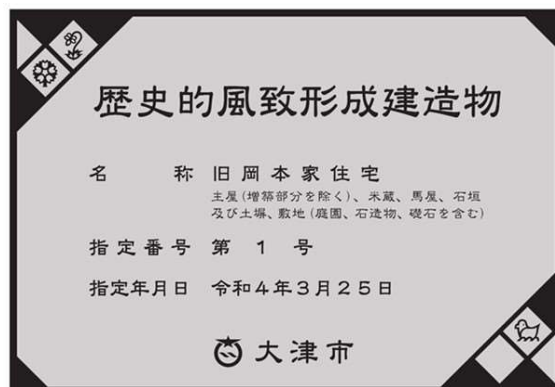


項目		評価対象年度	令和3年度
		現在の状況	
歴史的建造物の資料館などとしての活用		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	令和3年度(2021年度)～令和12年度(2030年度)		
支援事業名	市単独費		
計画に記載している内容	延暦寺の里坊であった旧竹林院や山門公人の住居であった旧岡本家住宅主屋ほかといった歴史的建造物を活用し、坂本の歴史や文化についての情報発信の拠点などとして活用する。なお、管理運営については指定管理者による。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
公人屋敷 来館者数: 2,247人 自主事業: 五月人形展、竹灯籠展、旧竹林院共通チケット等 旧竹林院 来園者数: 26,817人 自主事業: 竹灯籠展、秋の夜間ライトアップ、写真展、公人屋敷共通チケット等			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		新型コロナウイルス拡大に伴う外出自粛の影響を受け、来園者数が伸びていない。アフターコロナを見据えた仕込(メディア・SNS等による情報発信)を指定管理者と協力して行っていく。	
状況を示す写真や資料等			
 公人屋敷・旧竹林院・共通チケット発売。 430円⇒400円 公人屋敷・旧竹林院共通チケット 観光案内所			
 竹灯籠 絆 作品展 竹灯籠作品展ポスター			
 島林 大祐 写真展 湖 舞 ～立川 透子 anthology～ 写真展ポスター			
 旧竹林院			
 公人屋敷			
 竹灯籠作品			

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
歴史的風致形成建造物への指定と保存のための整備		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	令和3年度(2021年度)～令和12年度(2030年度)		
支援事業名	市単独費		
計画に記載している内容	区域内に存在する歴史的建造物について、所有者の承諾のもと調査を実施し、歴史的風致形成建造物への指定や保存整備(またはその経費の一部の補助)を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
世界遺産の比叡山延暦寺を支える坂本の町には、「山門公人」と呼ばれる家々が存在するが、山門公人の屋敷が今回指定する旧岡本家住宅である(「旧岡本家住宅 主屋(増築部分を除く)、米蔵、馬屋、石垣及び土塀、敷地(庭園、石造物、礎石を含む)」)。山門公人の屋敷は享保年間で186軒あったが、原形をとどめていない住宅や外観はとどめるものの室内は現代の生活に合わせてリフォームしている所有者も多い。旧岡本家住宅は坂本地区の公人屋敷で唯一原形を留め価値が高い住宅であり、今回第一号として指定した。指定にあたりオリジナルの指定プレートを掲出し、「歴史的風致形成建造物」の価値を高める一助とした。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		次年度以降も継続して指定を進め、あわせて整備にも着手する。	
状況を示す写真や資料等			



正面入口



指定プレート



馬屋



米蔵

評価軸③-3
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度
		現在の状況	
町家の利活用の支援		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	

事業期間	平成28年度(2016年度)から令和12年度(2030年度)
支援事業名	市単独費
計画に記載している内容	空き町家などを活用することによるまちの活性化と、その担い手を育成することを目的とする「リノベーションスクール」の開催などを行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

大津町家情報館のホームページの改修を行った。新ホームページは令和3年度末に公開したため、利用実績なし(旧ホームページ掲載による町家利活用に関するメール相談件数は21件)。ホームページ改修に伴い、より分かりやすい情報を発信し、町家利活用の促進を図る。リノベーションスクールはコロナ禍のため、開催自粛。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	空き町家の魅力及び利活用の事例などが十分に伝えられていなかったため、サイトのリニューアルにより幅広く告知する。

状況を示す写真や資料等



改修後ホームページ

項目		評価対象年度	令和3年度
		現在の状況	
未指定文化財の調査		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	

事業期間	令和3年度(2021年度)～令和12年度(2030年度)
支援事業名	市単独費
計画に記載している内容	市内に残る未指定文化財について、所有者の承諾のもと、学識経験者などの指導を得ながら調査を実施し、文化財として指定や登録などの保護措置や報告書の作成などに努める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

本年は大津市内の寺院が所蔵する絵画資料などの調査を大津市文化財専門委員会委員とともに実施し、大津市指定文化財の指定を検討している。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	民俗文化財の分野で、今までなんとか実施してきた祭礼行事が、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い中止となり、そのまま消滅する危惧がある。保護団体から実情を聞き取り、対応策を協議する必要がある。

状況を示す写真や資料等

調査文化財
 ・涅槃図
 ・大津御用米会所要用帳
 ・坂本城跡出土瓦



大津市文化財専門委員会委員による涅槃図の調査

項目		評価対象年度	令和3年度 現在の状況
文化財保存修理などへの補助			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	令和3年度(2021年度)～令和12年度(2030年度)		
支援事業名	市単独費		
計画に記載している内容	「大津市文化財保護条例」などに基づき、市内に所在する国・県・市指定文化財の修理及び管理に要する経費に対し補助金を交付する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
本年は、国宝延暦寺根本中堂及び重要文化財延暦寺根本中堂廻廊の保存修理など、国指定文化財の保存修理等9件、県指定文化財の保存修理1件、市指定文化財の保存修理3件について、補助を行なった。また、国指定文化財の管理事業31件、県指定文化財の管理事業11件、市指定文化財の管理事業3件に対して補助を行なった。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		所有者の意向をふまえつつ、計画的に事業を進めていくことが重要である。	
状況を示す写真や資料等			



屋根葺き替えが完了した神田神社本殿(令和2・3年度事業)

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度
			現在の状況
大津市伝統的建造物群保存地区での修理修景への補助			☐実施済 ☒実施中 ☐未着手

事業期間	平成10年度(1998年度)～令和12年度(2030年度)
支援事業名	国宝重要文化財等整備費補助金、市単独費
計画に記載している内容	重要伝統的建造物群保存地区の歴史的景観を維持し向上させるため、歴史的建造物の保存修理事業または歴史的建造物以外の建築に関する修景事業を行う事業者に対して、修理または修景の補助金を交付する。
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で	

本年は、律院本堂修理1件について、補助を行なった。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない	所要者の意向をふまえつつ、計画的に事業を進めていくことが重要である。 参拝者を含めた現場の安全管理に努めて実施している。

状況を示す写真や資料等



修理後の律院本堂

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

状況を示す写真や資料等

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
景観保全型広告整備地区の新規設定		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	令和3年度(2021年度)～令和12年度(2030年度)		
支援事業名	市単独費		
計画に記載している内容	歴史的なまちなみ景観の保全・形成を目指し、屋外広告物の新設などの行為に対する新たな規制誘導基準を設定するため、景観保全型広告整備地区を新たに設定する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
坂本地区に景観保全型広告整備地区を設定すべく、坂本学区まちづくり協議会地域整備部会と協議を重ねている。 令和3年度はコロナ禍により、開催自粛。次回開催予定は未定。			
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
まちなみ修景整備への補助		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	令和3年度(2021年度)～令和12年度(2030年度)		
支援事業名	市単独費		
計画に記載している内容	歴史的なまちなみの景観を保全及び形成するため、景観に配慮した建造物の外観の整備を行う者に対して、その経費の一部を補助する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
堅田重点区域において、建造物の外観の修景整備について1件協議を進めている。修景整備は令和4年度実施予定。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		補助金の活用に向けた周知不足。歴まち講座などを通じて広報に努める。	
状況を示す写真や資料等			



修景整備後イメージ

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度 現在の状況
道路の美化化		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 令和4年度(2022年度)～令和12年度(2030年度)

支援事業名 市単独費

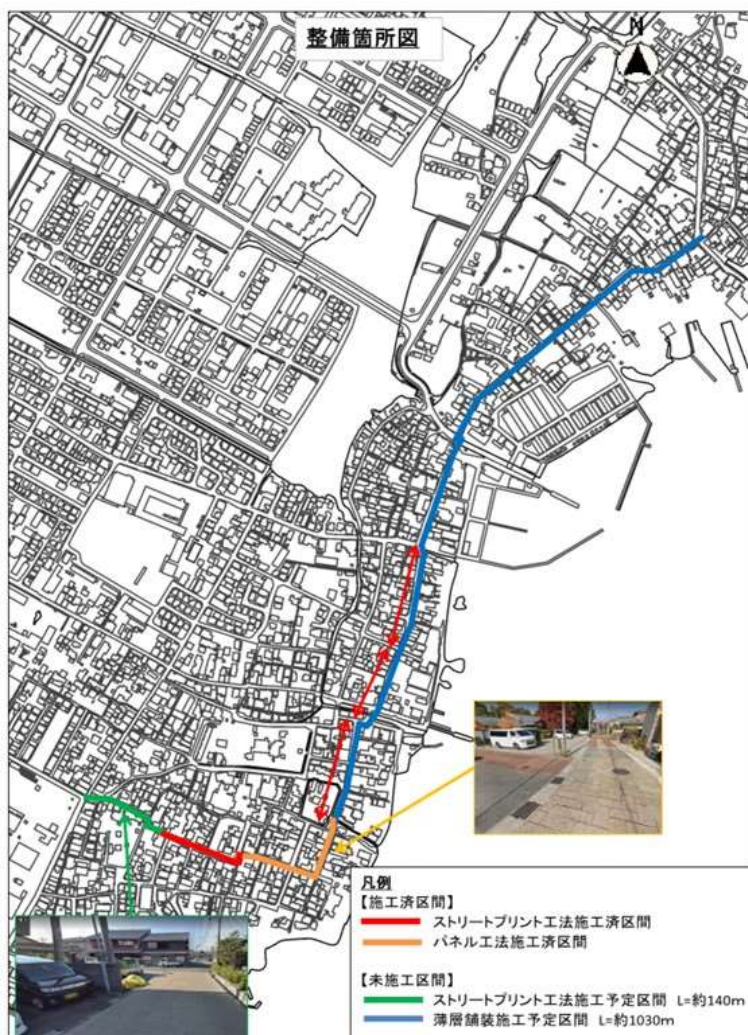
計画に記載している内容 【市道幹1012号線、市道北2145号線ほか】
歴史的まちなみと調和した修景舗装などによる空間整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和4年度からの事業実施に向けて、予算協議を実施。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



項目		評価対象年度	令和3年度
		現在の状況	
文化観光振興などへの助成		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成9年度(1997年度)～令和12年度(2030年度)		
支援事業名	大津市文化観光振興基金		
計画に記載している内容	大津市文化観光振興基金条例に基づき、必要に応じて学識経験者などの指導を得ながら、市指定有形・無形民俗文化財保存修理事業への補助を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
仰木太鼓保存修理事業1件と、大津祭曳山保存修理事業1件に、補助金を交付した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		文化財の保護や利活用に関しては、文化財保護課との協働が不可欠であり、今後も協力して効率的に事業を推進する。	
状況を示す写真や資料等			
   			
仰木太鼓保存修理事業			

評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度
		現在の状況	
祭行事の開催費用の補助		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	令和3年度(2021年度)～令和12年度(2030年度)		
支援事業名	市単独費		
計画に記載している内容	市内各地で行われる多くの祭行事は本市の歴史的観光資源である。そのなかでも特に本市の観光振興に寄与すると思われる祭行事の開催に要する経費に対し、必要に応じて学識経験者などの指導を得ながら、補助金を交付する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
大津三大祭事業補助金(14,636千円／予算額)			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、一部祭の中止等を余儀なくされている為、アフターコロナ期を見据えた継続的な地元支援は必要である。	
状況を示す写真や資料等			
【大津祭】 新型コロナウイルス感染症の流行を受け、昨年度に引き続き曳山巡行等、祭の一連の行事は中止となった。一方で、緊急事態宣言が明けたことを受け、祭の伝統継承等を目的に10月1日から10月10日にかけて、囃子稽古や懸装品等の手入れ、宵宮飾り等を実施した。			
【日吉山王祭】 新型コロナウイルス感染症の流行を受け、昨年度に引き続き神輿渡御等、一連の祭行事は中止となった。一方で、緊急事態宣言が明けたことを受け、祭の伝統継承と令和4年度の本祭開催等を目的に、感染症対策をしつつ3月からの神輿上げ等を実施する。			
【船幸祭】 新型コロナウイルス感染症の流行を受けて中止。			

評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度 現在の状況
歴史的観光資源を活用した事業への補助			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成26年度(2014年度)～令和12年度(2030年度)		
支援事業名	市単独費		
計画に記載している内容	祭行事のパブリックビューイングの開催など、市内に点在する歴史的観光資源を活用した事業に要する経費に対し、必要に応じて学識経験者などの指導を得ながら、補助金を交付する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
大津市歴史的観光資源活用事業補助金(3,500千円/予算額)			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、一部祭の中止等を余儀なくされている為、アフターコロナ期を見据えた継続的な地元支援は必要である。	
状況を示す写真や資料等			

【7事業】

- ・石山寺文化財解説映像化PR事業
- ・瀬田川流域エリア観光情報発信強化事業
- ・蟬丸芸能祭
- ・比良比叡トレイル「ルート地図」制作事業
- ・「かるたの聖地・大津」ブランディング事業
- ・湖都十社寺湖信会 春季誘客事業
- ・おごと温泉発ハイヤーで巡る”おおつ歴史探訪”



比良比叡トレイル「ルート地図」



古都十社寺湖信会 春季誘客事業パンフレット

評価軸③-14

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度 現在の状況
地域の歴史資料館の運営の補助			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	令和3年度(2021年度)～令和12年度(2030年度)		
支援事業名	市単独費		
計画に記載している内容	堅田の歴史についての展示を行っている湖族の郷資料館を運営する実行委員会への補助を行う。また、大津祭に関する展示などを行っている曳山展示館を情報発信の拠点として指定管理者による管理運営を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
湖族の郷資料館 来館者数:1,397人 大津祭曳山展示館 来館者数:20,290人 指定管理者による自主事業:大津祭関連グッズの販売、ちま吉の着ぐるみ展示、大津まちなか大学協力、ちま吉仕様自動販売機設置			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	コロナ禍のため、来館者数が少なく、イベントの開催も自粛されている。また、大津祭が開催されず、情報発信の機会を逸している。 資料館においては基本的な感染症対策を継続していただき、イベントを開催する際には、コロナ対策を徹底するようサポートしていく。また、展示館に関しては、大津祭が開催されない中でも、祭を周知する機会として、展示館を訪れていただくきっかけ作りを行っていく。		
状況を示す写真や資料等			



湖族の郷資料館



湖族の郷資料館



大津祭曳山展示館



大津祭曳山展示館内 曳山

評価軸③-15

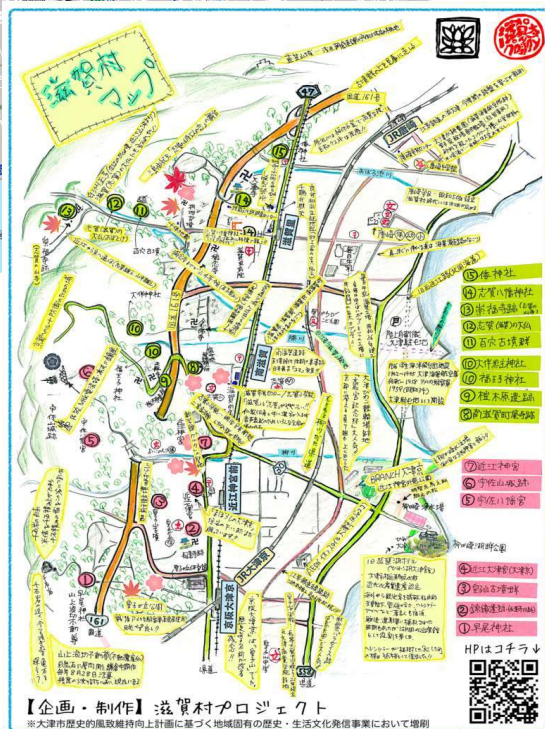
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和3年度 現在の状況
項目			
副読本、文化遺産マップなどの作成			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	令和3年度(2021年度)～令和12年度(2030年度)		
支援事業名	市単独費		
計画に記載している内容	地域で歴史に関する研究、発表を行っている団体が作成した地域の歴史に関する副読本や文化遺産マップなどを製本、印刷する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
今年度は2団体から過去に作成したマップの増刷の応募があり、大津市歴史的風致維持向上協議会で可決した。マップは地域住民に自分の街のことを知ってもらうことを目的に学校や各戸に配布し、観光誘致へつなげていくために駅や観光施設などにも配布の予定。2団体(1団体9,000部、1団体14,000部)			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		次年度も募集し、市域全域の団体の参加を目指す。	

状況を示す写真や資料等



『唐崎 史跡と遺跡』



『滋賀村マップ』

評価軸③-16

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度
			現在の状況
東海道統一案内看板の普及啓発			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間	平成29年度(2017年度)～令和12年度(2030年度)
支援事業名	市単独費
計画に記載している内容	現在、本市内の東海道沿道の一部地域では、東海道であることを表示する看板を設置している。しかし、デザインが統一されていないなどの理由でわかりにくいことから、東海道であることを東海道沿道の地域住民や来訪者にわかりやすく伝えるため、草津市役所と連携し、「東海道統一案内看板ロゴマーク」が描かれた案内看板の設置を東海道沿道の地域住民などに普及啓発する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

1. 個人・事業者による単独設置 大津市内13基(膳所商店街振興組合9基、滋賀県建築士会大津地区委員会4基)
2. びわこ大津草津景観推進協議会による設置 草津市内1基

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



本丸町2番8号



中庄一丁目15番23号



本丸町3番16号



杉浦町22番2号



本丸町3番7号



丸の内4番38号



東海道統一案内看板

評価軸③-17

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度 現在の状況
地域の人材活躍の支援			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	令和3年度(2021年度)～令和12年度(2030年度)		
支援事業名	市単独費		
計画に記載している内容	地域での観光ボランティアガイドや歴史に関する研究、発表を行っている個人や団体に対して、団体間の交流を促す交流会や歴史に関する知見をさらに深めてもらうための勉強会を開催する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
大津市の歴史的風致維持向上計画について重点区域の地域住民が、自分の住んでいるエリアの歴史文化について気軽に知ることができる場として、1時間の座学と1時間のまち歩きからなる「歴まち講座入門編」を重点地区の堅田・坂本・大津百町エリアで開催した(定員20名)。また大津市歴史的風致維持向上計画の策定にあたって意見聴取した関係団体の交流を図るため、交流会を開催して各団体の活動内容や課題について意見交換をした。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		今後も引き続き、感染症対策を講じたうえで、地域住民が、自分の住んでいるエリアの歴史文化について気軽に知ることができる場として勉強会を開催し、歴史まちづくりに対する地域住民の機運を高める。講座内容は今回のアンケート等から分析し精度を高める。	
状況を示す写真や資料等			
〔歴まち講座入門編〕 ・令和4年1月20日 坂本重点区域 参加20名 ・令和4年1月24日 堅田重点区域 参加19名 ・令和4年1月25日 大津百町重点区域 参加12名 〔交流会〕 ・令和4年1月27日 参加9団体、15名			
			
堅田重点区域まち歩き(歴まち講座)		大津百町重点区域座学(歴まち講座)	
			
交流会			

項目		評価対象年度	令和3年度
		現在の状況	
大津まちなか大学の開催		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	

事業期間	平成28年度(2016年度)～令和12年度(2030年度)
支援事業名	市単独費
計画に記載している内容	まちづくりの中核を担う人材を育成することを目的に大津まちなか大学を開設している。同大学には、大津を訪れる人に大津百町の魅力を伝え、積極的に発信できる人材の育成を目的とした「大津百町おもてなし学部」と大津祭を学び、体験することを通じて先人の知恵と気質を継承していく人材の育成を目的とした「大津祭学部」があり、それらの学部でまち歩き講座やワークショップの開催などを行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

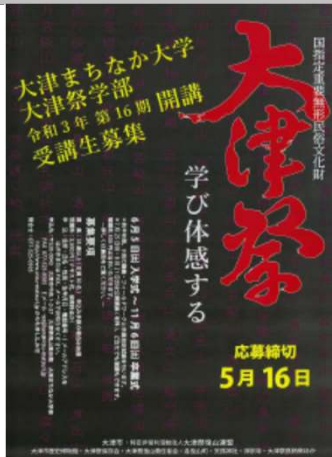
大津まちなか大学大津祭学部は、平成18年から今年で第16期を数え卒業生は270人を数える。令和3年度は24名の参加があり、新型コロナウイルス感染拡大で曳山巡行が中止となる中で、10回の講義・研修を実施した。
大津まちなか大学おもてなし学部は平成30年度から開催しており、これまでの卒業生は個人16名・団体5団体となっている。令和2年度は新型コロナウイルスの感染拡大の状況により中止した。令和3年度は感染防止に留意しながら9月～2月まで全6回の講義を開催し個人7名、1団体2名の参加があった。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	今後も引き続き、感染症対策を講じたうえで、地域との連携を深めながらまちづくりを担う人材の育成に取り組んでいく。講座内容は実行委員会やアンケート等から分析し精度を高める。
--	--

状況を示す写真や資料等



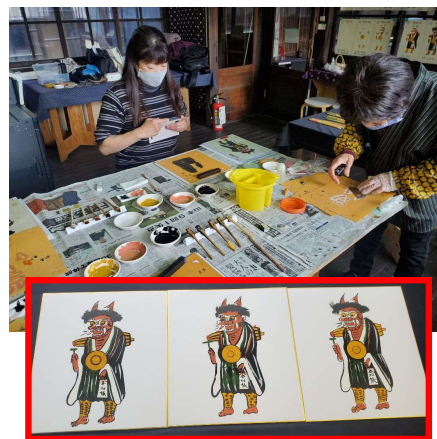
大津まちなか大学大津祭学部募集ポスター



大津まちなか大学おもてなし学部ポスター



座学(おもてなし学部)



大津絵体験(おもてなし学部)

評価軸③-19

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度 現在の状況
おおつびと 大津人実践講座の開催			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成28年度(2016年度)～令和12年度(2030年度)		
支援事業名	市単独費		
計画に記載している内容	市民を対象に、地域の歴史や福祉など複数あるテーマのうちから、テーマを1つ取り上げ、テーマにあった地域づくりに取り組んでいる団体の活動などについて学ぶ機会を設けることで、地域への関心を高め、地域を愛する心を育み、地域づくりに貢献する人(大津人)を育てる。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
新型コロナウイルス感染症拡大によるまん延防止等重点措置や緊急事態宣言により、当初予定した講座の延期や開催日数を縮小したが、大学や地域との連携を強化したプログラムにより、今回参加した19名の受講生にとどまらず、大学生や地域との協働による学習が展開できた。また、講座修了生で組織する「おおつびと倶楽部」の活動や、受講生の企画案が地域での取り組みにつながるなど「学びと活動の循環」が形成されている。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		今後も引き続き、感染症対策を講じたうえで、大学や地域との連携を深めながら地域づくりを担う人材の育成に取り組んでいく。	

状況を示す写真や資料等

令和3年度 大津人実践講座内容

回	月 日	時 間	内 容	講師名	開催場所
1	7月10日(土)	10:00～13:00	・開講式 ・オリエンテーション ・歴史講座 「歴史資料でたどる大津事件」	滋賀大学教育学部 教授 神部 純一 氏 大津市歴史博物館 主査 高橋 大樹 氏	逢坂公民館
2	11月7日(日)	10:00～13:00	・琵琶湖の環境 「真珠屋三代目店主の挑戦 ～びわ湖真珠が育つ美しい 琵琶湖を願って～」 ・講話、見学等	神保真珠商店 店主 杉山 知子 氏	中央公民館
3	10月16日(土)	13:30～16:00	・大津再発見 「苦難を乗り越えてきた不死鳥 の寺 ～三井寺編～」 ・講話、三井寺拝観等	三井寺(園城寺) 執事長 福家 紀明 氏	三井寺(園城寺)
4	11月20日(土)	10:00～16:00	・まちを見る目を養おう ～真野のまちあるき～ まちづくりの入り口を見つける まちを見る目を養いましょう。	真野学区自治連合会 真野学区文化振興会 龍谷大学政策学部 教授 只友 景士 氏	真野公民館 真野学区内
5	12月5日(日)	10:00～16:00	・まちへの関心を高める まちのみんなと楽しくまちづく りを進めるために、市民の皆さん のまちへの関心を高める方法につ いて学び、一緒に考えます。	真野学区自治連合会 真野学区文化振興会 龍谷大学政策学部 教授 只友 景士 氏	真野公民館 真野学区内
6	1月15日(土)	10:00～16:00	・まちづくりを仕掛ける ～“私”が地域の為にできること～ ・企画書(提言書)の作成	龍谷大学政策学部 教授 只友 景士 氏	真野学区内
7	2月27日(日)	10:00～16:00	・企画書(提言書)の完成 ・発表会 ・閉講式	龍谷大学政策学部 教授 只友 景士 氏	真野公民館



第1講 歴史資料でたどる大津事件



第3講 大津再発見～三井寺編～



第5講 まちへの関心を高める時

項目		評価対象年度	令和3年度 現在の状況
埋蔵文化財調査成果の展示会などの開催			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	令和3年度(2021年度)～令和12年度(2030年度)		
支援事業名	市単独費		
計画に記載している内容	発掘調査の成果の展示や埋蔵文化財に関連する講座を開催する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
感染症対策を十分にとるため、募集人数を縮小して、遺跡紹介展「坂本遺跡」(274人)、企画展「緑釉陶器と灰釉陶器」(374人)、発掘調査成果展「大津 むかし・むか～し」(119人)、遺跡紹介展「関津遺跡」(76人)の4回の展示と、9回の講座(242人)、1回の現地見学会(「天智天皇夢の跡をめぐる」16人)を実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		感染症対策を十分に行って、事業を実施すること。地域の方々に広く周知できるよう、周知方法を検討する。	
状況を示す写真や資料等			
			
企画展みに講座「緑釉陶器と灰釉陶器」		企画展「緑釉陶器と灰釉陶器」展示解説	
			
夏休み特別チャレンジ②「勾玉を作ろう」		夏休み特別チャレンジ④火おこし名人と「火おこし体験」	

評価軸③-21

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度 現在の状況
歴史博物館での常設展示及び企画展示の実施			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	令和3年度(2021年度)～令和12年度(2030年度)		
支援事業名	市単独費		
計画に記載している内容	本市の持つ南北に細長い地理的特色を踏まえ、地域の焦点をあてた「テーマ展示」と市域全域の歴史の流れを年代順にたどる「歴史年表展示」によって構成された常設展示を実施する。また、市内での歴史上の出来事や歴史上の人物などのテーマに基づいた企画展示を開催する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
企画展「芭蕉翁絵詞伝と義仲寺」(春期 1,023人)、ロビー展「TOKYO1964～大津に聖火がやってきた～」(春期)、企画展「大津のどうぶつ博物館」(夏期 2,349人)、聖徳太子1400年御遠忌・伝教大師1200年御遠忌記念企画展「西教寺—大津の天台真盛宗の至宝—」(秋期 3,756人)、企画展「蘆花浅水荘と山元春拳画塾」(春期 1,184人)を開催した。また、常設展示室において、「歴史資料でたどる大津事件」をはじめとする6件のミニ企画展を実施し、16,019人の観覧者があった。さらに春には新発見の仏像の「速報展示 真光寺観音菩薩像とその一具像」を行い、全国的なニュースとなった。			
進捗状況 ※計画年度との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	コロナ禍により想定よりも来館者数は少なくなったが、大津市内だけでなく全国からお越しいただいた。今後も状況を鑑みながら感染対策を行いつつ、事業を進めていく予定。		
状況を示す写真や資料等			



常設展示室



大津のどうぶつ博物館 展示風景



大津のどうぶつ博物館チラシ

評価軸③-22

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度 現在の状況
歴史博物館での資料の調査や収集			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	令和3年度(2021年度)～令和12年度(2030年度)		
支援事業名	市単独費		
計画に記載している内容	個人や団体が所有する本市の歴史に関する資料について、調査を行い、収蔵品収集審査会の審査のもと資料を収集し、歴史博物館の資料の充実化を図る。また、資料に関する研究を行い、その成果を広報する研究紀要を発行する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
西教寺に伝わる全ての宝物の悉皆調査を実施し、新発見資料を多数確認。さらに延暦寺などに安置される仏像の悉皆調査、聖衆来迎寺などに伝来する多数の聖教調査、堅田本福寺などの古文書の整理を行った。また、資料の収集では9件の購入と、9件の受贈を受けた。研究紀要と史料集については、「大津市歴史博物館研究紀要」27号、史料集として「大津百艘船万留帳」I、「膳所藩町奉行川那辺壮右衛門日記」を刊行した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		コロナ禍により作品調査も憚れる場合もあるが、状況をみて所有者と相談しながら調査を進める予定。	
状況を示す写真や資料等			
・西教寺:悉皆調査 ・延暦寺:仏像調査 10点 ・園城寺:仏像調査 約80点 ・聖衆来迎寺:聖教調査 約100点 ・法明院:聖教調査 約150点 ・堅田本福寺:文書整理 約1,500点 ・今堅田共有文書:文書整理 約600点 ・個人蔵文書:文書整理 約2,000点(古文書輪読会と共同)			
			

資料の調査風景(博物館実習時)

資料の調査風景(古文書調査)

評価軸③-23

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
れきはく講座などの開催		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	令和3年度(2021年度)～令和12年度(2030年度)		
支援事業名	市単独費		
計画に記載している内容	市内の文化財などに関する情報発信を行う「歴博だより」の発行や市民を対象にした「れきはく講座」、小学生などを対象にした「ワークショップ」などを開催する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
コロナ禍での制限のなか、れきはく講座は32回の実施で、1,299人の参加があった。子供向けワークショップは、16回の開催で201人の参加があった。いずれも2倍近い申し込みに抽選で対応した。歴博だよりは予定の年4回分をすべて発行し、展覧会にあわせた読み物風の文章で、市民にわかりやすい解説を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		コロナ禍での感染予防をとりつつ、市民のニーズに応える。対応は滋賀県の感染予防方針に準じて行う。	
状況を示す写真や資料等			



れきはく講座



子供向けワークショップ

評価軸③-24

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度
		現在の状況	
観光施設の維持管理		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	

事業期間 令和3年度(2021年度)～令和12年度(2030年度)

支援事業名 市単独費

計画に記載している内容 堅田重点区域への主な動線上にある堅田観光駐車場(東洋紡前、湖族の郷資料館前)の維持管理を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・堅田観光駐車場(東洋紡前)
堅田観光協会へ管理業務を委託:8時30分解錠～17時30分施錠。観光目的以外の駐車車両に対する排除勧告。
駐車台数:普通車60～80台、バス4台
- ・堅田観光駐車場(湖族の郷資料館前)
湖族の郷資料館運営委員会へ委託:常時開放。付帯便所及び駐車場清掃、観光目的以外の駐車車両に対する排除勧告。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和3年4月29日～5月9日の間、東洋紡前駐車場を閉鎖した。今後も感染拡大状況により閉鎖せざるを得ない事態が想定される。
- 計画どおり進捗していない

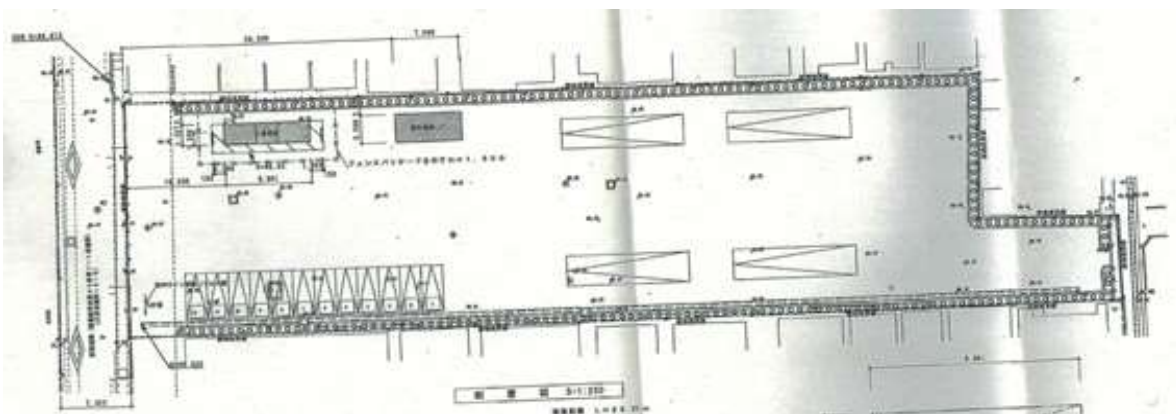
状況を示す写真や資料等



観光駐車場案内板



観光駐車場所所在地(『湖族の郷 まち歩きマップ』より)



観光駐車場平面図

項目		評価対象年度	令和3年度 現在の状況
公共空間の活用			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	令和3年度(2021年度)～令和12年度(2030年度)		
支援事業名	市単独費		
計画に記載している内容	JR大津駅から大津百町区域への主要な動線となる市道幹1037号線において、歩きやすい歩行者空間の整備を行うことに加えて、オープンモールなどのイベントを開催することにより、にぎわいを創出する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で まちに賑わいや憩いの場所を生み出して、地域の魅力を高めるとともに、JR大津駅から琵琶湖まで楽しく歩いてつなげていくことを目的に、大津駅前公園・中央大通りイベントエリアでイベントの募集を行った。令和3年11月22日～令和4年3月31日 観光庁の既存観光拠点再生・高付加価値化推進事業の中でJR大津駅にてイベントを実施した。令和3年11月5,6,7日(金土日)、12,13,14日(金土日) 計6日間。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		次年度以降も継続的にイベントを実施し日常的なにぎわいを創出したいと考える。課題としてはイベントの出店者を管理運営する企業を検討している。大津百町区域への人の流れがさらに創出できるようイベントの連携を検討する。	
状況を示す写真や資料等			



大津駅前公園・中央大通りイベントチラシ



JR大津駅 イベント様子

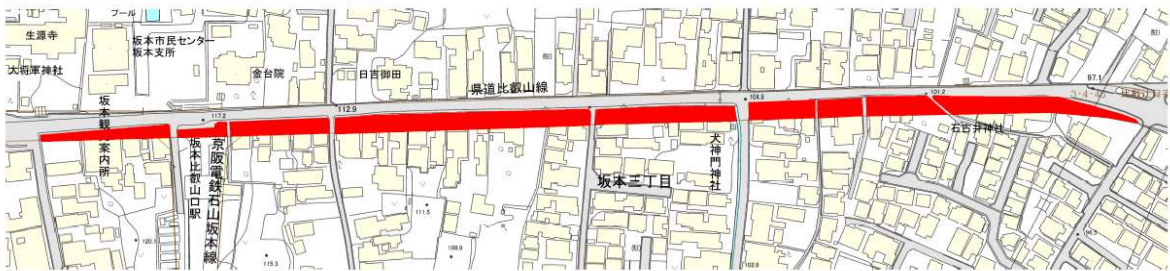
評価軸③-26

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度
		現在の状況	
道路の拡幅整備(都市計画道路比叡辻日吉線)		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	
事業期間	平成25年度(2013年度)～令和6年度(2024年度)		
支援事業名	防災・安全社会資本整備交付金		
計画に記載している内容	さんのうかい 山王祭の主要ルートであり、JRや京阪電車の駅からの坂本区域への主要な動線となる都市計画道路3・4・46号比叡辻日吉線の拡幅とそれに伴う無電柱化、修景整備を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
用地買収 7件 側溝工事 7件			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

都市計画道路3・4・46号比叡辻日吉線改良事業



〈事業概要〉

事業内容:街路 (防災・現道路幅員 0.55)
所在地:大津市坂本三丁目～同市坂本四丁目
延長: L=690m W=16m 車線数:2
全体事業費: C=35億円
事業期間:平成25年度～令和9年度
権利者件数:55件
令和2年度契約件数:9件
令和3年度契約件数:14件
累計契約件数:41件 (用地取得率:74.5%)
用地取得 残物件数:14件

評価軸③-27

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

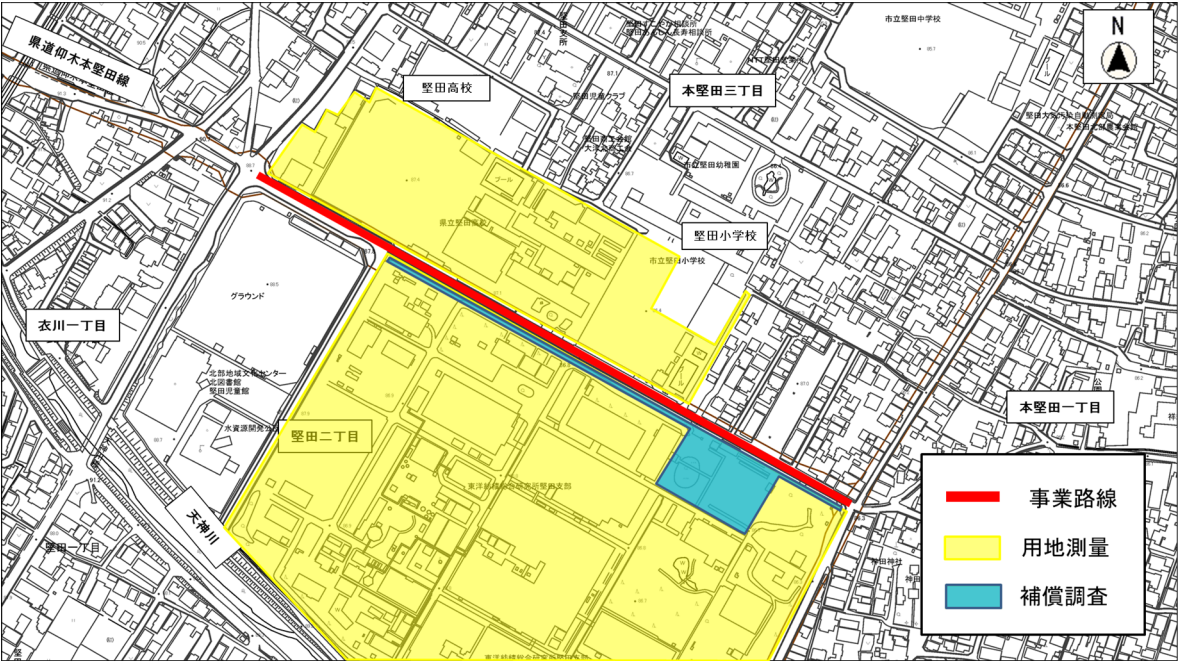
項目	評価対象年度	令和3年度
		現在の状況
道路の拡幅整備(都市計画道路本堅田衣川線)		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手

事業期間	平成29年度(2017年度)～令和6年度(2024年度)
支援事業名	防災・安全社会資本整備交付金
計画に記載している内容	主要幹線道路から堅田重点区域への主な動線となる都市計画道路3・5・101号本堅田衣川線の拡幅とそれに伴う修景整備を行う。
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で	

用地測量 2件
補償調査 1件

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度 現在の状況
①文化財調査、指定、保存管理(活用)計画の策定など (1)文化財の保存・活用の現状と今後の方針 (7)埋蔵文化財の取り扱いに関する方針			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	文化財の調査を通じてその価値を明らかにし、文化財指定をすることで、保存と活用をはかる。また、埋蔵文化財の保存については、事前の届出に基づき滋賀県教育委員会や開発業者と協議を行い、埋蔵文化財の適切な保護につとめる。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・歴史的風致形成建造物1件[旧岡本家住宅主屋(増築部分を除く)、米蔵、馬屋、石垣及び土塀、敷地(庭園、石造物、礎石を含む)]を指定した。 ・文化財保護課では指定候補として、大津市文化財専門委員会委員とともに3件(涅槃図、大津御用米会所要用帳、坂本城跡出土瓦)の調査を実施した。 ・歴史博物館では、主な調査として、西教寺悉皆調査、延暦寺仏像調査(10点)、園城寺仏像調査(約80点)、聖衆来迎寺聖教調査(約100点)、法明院聖教調査(約150点)、堅田本福寺文書整理(約1,500点)、今堅田共有文書整理(約600点)、個人蔵文書整理(約2,000点)を実施した。 ・埋蔵文化財の保存では、418件の埋蔵文化財発掘届を受理し、16件について発掘調査を実施し、8冊の発掘調査報告書を刊行した。 ・埋蔵文化財調査センターでは、1冊の調査報告書を刊行した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		所要者の意向をふまえつつ、計画的に事業を進めていくことが重要である。	
状況を示す写真や資料等			
			
歴史的風致形成建造物の指定		文化財専門委員会委員による涅槃図の調査	
			
資料の調査(博物館実習時)		資料の調査(古文書調査)	

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度
		現在の状況	
	②文化財の修理事業、文化財の周辺環境の整備事業、防災・防犯に関する事業など (2)文化財の修理(整備)に関する方針 (4)文化財の周辺環境の保全に関する方針 (5)文化財の防犯・防災に関する方針		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	文化財の保存のために適切な維持・管理に努め、指定文化財の修理にあたっては各種補助制度を積極的に活用し、所有者の財政的負担の軽減を図る。文化財は周辺の風土・環境と一体となってその価値を一層高めるところから、関係法令による制度・規制と連携して、周辺環境の整備に努める。文化財の防犯・防災については、市民の協力をえながら防災対策を進める。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・文化財保存のために、国指定文化財9件、県指定文化財1件、市指定文化財3件の修理事業に対して、補助金を交付した。 ・大津市伝統的建造物群保存地区での修理・修景に対し、1件[律院本堂]の補助金を交付した。 ・大津市文化観光振興基金から、市指定文化財に対し、2件[仰木太鼓、大津祭曳山]の補助金を交付した。 ・大津市景観計画の改定に向けて、大津市景観審議会に諮問し、専門委員会を2回開催した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	所要者の意向をふまえつつ、計画的に事業を進めていくことが重要である。		
状況を示す写真や資料等			



国宝延暦寺根本中堂の修理



国重要無形民俗文化財大津祭の曳山行事における懸装品の修理



修理後の律院本堂



市指定文化財仰木太鼓の修理

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和3年度 現在の状況
項目			
③文化財に関する普及・啓発の取組、防災訓練の取組みなど (3)文化財の保存・活用を行うための施設に関する方針 (6)文化財の保存及び活用の普及・啓発に関する方針 (8)教育委員会の体制と今後の方針 (9)各種団体の状況及び今後の体制整備の方針			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	大津市には市の施設の大津市歴史博物館・大津市埋蔵文化財調査センターに加え、地域やNPO法人によって運営されている資料館があり、関係団体や地域住民、学校教育との連携などを通じて、文化財の保存・活用につとめる。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・歴史博物館では、4回の企画展に8,312人、8回のミニ企画展と常設展に16,019人の観覧者が、れきはく講座は32回で1,299人、子供向けワークショップは16回で201人の参加者があった。小中学校等の団体観覧は11校(市内7校)で492人(市内285人)、小学校への出張授業として3校11クラスに対応した。 ・埋蔵文化財調査センターでは、4回の展示に843人の観覧者が、講座は9回で242人、現地見学会は1回で16名の参加があり、小学校体験学習として、2校219人を受け入れた。 ・文化財を災害から護るため、令和3年10月27日世界遺産延暦寺を会場に、延暦寺関係者、大津市消防団、大津市消防局の参加で、文化財消防訓練を実施した。 ・文化財を火災から護るため、令和4年1月26日の文化財防火デーの前後に、消防職員や文化財保護課職員により、47箇所の文化財を対象に査察を実施した。 ・文化財保護体制を充実させるため、埋蔵文化財の専門職員を1名増員した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	普及・啓発事業では新型コロナウイルスの影響により来館者や参加者は少なかったが、今後も状況を見ながら感染対策をとって進めていく。		
状況を示す写真や資料等			



歴史博物館の展示風景



れきはく講座



埋蔵文化財調査センター 夏休み特別チャレンジ「勾玉を作ろう」



延暦寺を会場とする文化財消防訓練

法定協議会等におけるコメント

(様式2)

評価対象年度	令和3年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称:大津市歴史的風致維持向上協議会	
会議等の開催日時:令和4年4月18日～4月26日 委員を個別に訪問し、説明と意見を伺う。	
(コメントの概要) ・これからの日本は文化財保存に注力すべき。日本の文化を残し、世界に発信することが大事である。 ・大津は歴史都市で価値がある。固有の歴史、独自性を分かりやすく、広くアピールすることが課題である。 ・歴史的風致維持向上計画に基づき、事業が進み各所で盛り上がってきている。その盛り上がりを活かしていくための体制作りに力を入れ、方向性を固めていくと良い。 ・今後、歴史的風致形成建造物の指定数を段階的に増やしていくことに力を入れると良い。	
(今後の対応方針) ・引き続き、歴史的風致形成建造物の指定を進める。	